

第204号

# 柿のれん

(発行者)  
長野県厚生農業協同組合連合会  
下伊那厚生病院  
朔 哲 洋

(病院理念) 私たちは、地域の皆さんと共に、生活に密着した保健・医療・福祉を通じ、安心と満足の達成を目指します。  
JA長野厚生連 下伊那厚生病院 ホームページ <http://www.shimoina-hp.jp>  
Facebook <https://www.facebook.com/shimoinakousei/>



(写真) 新年おめでとうございます (当院正面玄関)

## 今月の内容

～院長 朔哲洋～

新年のあいさつ

～(連載) 健康生活応援隊⑫～

受けていますか? 大腸がん検診

～管理栄養士 梅村 尚美～

全厚連全国統一献立の日～おすすめ郷土料理～

整形外科医師の紹介

お知らせ

今月の外来診療区

## 職員募集

- ・医師
- ・薬剤師
- ・看護師
- ・看護助手
- ・言語聴覚士
- ・介護福祉士



1月の壁面飾り (透析)

今すぐページに  
いいね!しよう



新年のあいさつ

院長 朔 哲洋

ちづくり、

☆幸福 (Well-being)

☆公平 (Fairness)

☆公正 (Equity)

な社会の実現に貢献することをめざす』ことを目的にした世界的なグループです。

猪突猛進で新しい目標に進んでいく所存です。



## HPHをめざして

今年、HPH (ヘルス・プロモーション・ホスピタル) の仲間になる準備をしております。HPHは、『患者・職員・地域住民の健康水準の向上をめざし、住民や地域社会・企業・NPO・自治体等とともに健康なま

この団体の魅力は、職員の健康づくりをしつかりと明記している点です。とかく医療機関では、『患者さんのために頑張らましよう』とのスローガンが掲げられやすく、職員の健康は、その対象からは外れてしまします。

職員が健康でなきゃ



これは二つの点で良くないと考えています。

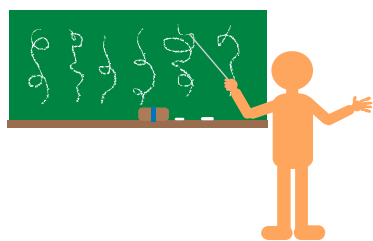
## 地域住民の『ために』

と『ともに』の違い

一つ目は、「ために」という言葉に含まれる上から目線です。『患者さんや地域住民は、私たちが健康に導いてあげなければならぬ。』一見、美しいスローガンの中には、医療従事者の上から目線、傲慢さが隠れています。これでは真の健康づくりはできません。患者さんや地域住民とともに、職員も健康づくりに一緒に取り組むことが重要と思えます。

二つ目は、

健康教育は、学校の授業とは大きな違いがあるということです。学校



の先生は、教えている内容のテストをすれば、100点を取る実力があるでしょう。でも、健康教育については、教えている医師も保健師もその他のスタッフも、実践で100点を取れるような生活は出来ていません。一緒に学習し、一緒に悩み、一緒に実践しない限り、本当に実のある教育となっていないのかかわらないのです。「健康教育」というより「健康学習」と言った方が、適切なものかもしれません。

## 職員から実践を

そこで、今年、『職員の健康づくり』に力を入れていきたいと考えています。残念ながら、病院職員の中にも、たばこがやめられない職員がいます。職員の喫